

教育・研究などへの取組状況

総合工学システム学科 環境物質化学コース 教授 東田 卓

項目	取組状況
教育	<p>◆ 平成 29 年度担当科目 (本科) 総合工学システム概論、基礎工学演習 I,II(A)、有機化学 I、環境物質化学実験 I、基礎研究 (前期・後期)、卒業研究、(専攻科) 応用有機化学、工学基礎研究、工学特別研究</p> <p>◆ 担当科目の取組状況 (工夫・改善した点) 29 年度、総合工学システム概論ではアクティブラーニング (AL) によるキャリア教育支援を昨年より更に発展させた。基礎工学演習ではキャリア教育支援の一環として新規に AL を導入した。(これらの取り組みはセミナーにて口頭発表を行った)</p> <p>◆ 特記すべき教育方法の実践例 29 年度、基礎工学演習では板書の講義をすべてパワーポイント (Keynote) に変更し、学生に写真や動画を見せて理解しやすくさせた。有機化学 I では自著の著書 (教科書・演習書) を用いて講義をおこなっている。教科書は随時改定中 (現在第 6 刷)。</p> <p>◆ 校長顕彰などの受賞 校長顕彰実施要領第 2 条(2)号 (剣道全国大会出場)、校長顕彰実施要領第 2 条(5)号該当 (専攻科生ポスター賞受賞)</p>
研究	<p>◆ 平成 27~29 年度における研究業績</p> <p>■ 学術論文執筆</p> <p>○Formation of Lactones by Decarboxylation of Aromatic Diacids via TiO₂-Mediated Photocatalytic Reactions in Acetonitrile Solution. <i>Chemistry Letters</i>, 2016, 45 (7), 801-803</p> <p>○大阪府立大学高専における安全教育の紹介 日本工学教育会「工学教育」安全安心特集 2015 年 9 月号</p> <p>○TP ワークショップでのピア・カンファレンスを通じたメンター教員の成長 日本高専学会誌 2017 年 12 月 他 4 件</p> <p>■ 国際会議での発表</p> <p>○Growth of Mentor Teachers through the Peer Conference in a Teaching Portfolio Workshop 2017 年 8 月 ICoME2017</p> <p>○Synthesis of Phenol from Benzene Using TiO₂ Photocatalyst Placed near Benzene/Water Interface 2016 年 7 月 GSC-7 and 4th JACI/GSC Symposium</p> <p>■ 学術講演会での発表</p> <p>チタニア電極に固定化した金ナノ粒子によるフォトクロミック分子の光応答増幅 2018 年 3 月日本化学会第 98 回春季年会</p>

	<p>可視光応答型 WO₃ 光触媒を用いたフォトクロミック分子「T3-OH」の消色 2018年3月 日本化学会第98回春季年会</p> <p>金ナノ粒子を修飾した二酸化チタン薄膜の作製と可視光応答型光触媒特性：二酸化チタンの厚膜による効果 2018年3月日本化学会第98回春季年会 他22件</p> <p>◆ 特許 なし</p> <p>◆ 平成27～29年度における外部資金獲得状況 ○関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団 94万円（平成29年度） ○平成26年度新学術研究（研究領域提案型）奈良先端大学院大学 共同研究 ○基盤研究C 滋賀県立大学 共同研究</p> <p>◆ 学会などでの受賞 なし（受賞は指導学生のみ）</p>
社会貢献	<p>◆ 平成27～29年度における公開講座・出前授業の取組状況出前授業 寝屋川市理科児童研究発表会 公開講座 子と親の楽しいかがく教室 2日 他15件</p> <p>◆ 平成27～29年度における学協会等の委員 なし</p> <p>◆ 特記すべき社会貢献の内容 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟所属 ボーイスカウト京都第23団 にて副団委員長として奉職中（地域の青少年育成）</p>